



るさ族凱旋無日昨に共と隊第三六三第兵歩隊部隊所戦勝に凱旋傳

坂本郎敬太氏

勝誇りたる若武者
歩武堂々昨朝凱旋

沿道堵を作り歓聲天を衝く
愛人相擁し再會を喜ぶ熱情
道に撒れたボビーの色鮮か

列車着
海上の歓迎船

大行列

既報の如く桑港より出征したる兩聯隊は昨朝武運出度く凱旋し市民の熱誠溢る大歓迎を受けたるが何れも千軍萬馬の間に馳驅したる若武者、砲彈沐浴に何れも銅色に變じ伸びたる髪は彼等の武勳を語るに似たり。今左に凱旋の光景を詳説可し。

市當局が銳意歓迎準備をして待

ち焦して居たる光榮ある勝誇り待てられた七臺の聯絡列車は米國々旗を掲げ駆道を軋む音最も勇ましく昨朝の八時過ぎ王府停車場に着た指揮官

の下車命令が

▲傳はるこ

一隊は多數

▲隊伍堂々

包切れの愛情

▲出迎人を

喜びと驚きの笑を浮べて一面に

の出迎人に圍繞せられて満面に

▲兵士は出

て之に呼

▲割るこ

如き歓呼の

▲太陽を受

けて色彌々

▲星を敷きたる初夏の海に浮

きたる無数の花は

▲太陽を受

けて色彌々

▲星を敷きたる初夏の海に浮

<p

